様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新島学園短期大学
設置者名	学校法人 新島学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	キャリアデザイン学科	夜・通信			8	8	7	
	コミュニティ子ども学科	夜・通信			10	10	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.niitan.jp/_file/2023_work_experience.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新島学園短期大学
設置者名	学校法人 新島学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://houjin.niijima-gakuen.jp/disclosure/pdf/jigyohokoku_23.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益財団法人 博物館館長（現職）	2021年4月1日～ 2025年3月31日	法人運営
非常勤	金融機関理事長（現職）	2021年4月1日～ 2025年3月31日	法人運営
非常勤	元大学教授	2021年4月1日～ 2025年3月31日	法人運営
非常勤	学校法人職員（現職）	2021年4月1日～ 2025年3月31日	法人運営
非常勤	日本基督教団牧師（現職）	2021年4月1日～ 2025年3月31日	法人運営
非常勤	日本基督教団牧師（現職）	2023年4月1日～ 2025年3月31日	法人運営
非常勤	飲食サービス業代表取締役（現職）	2023年5月27日 ～2025年3月31日	法人運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新島学園短期大学 (キャリアデザイン学科・コミュニティ子ども学科)
設置者名	学校法人 新島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>前年度の12月から各科目の担当教員にシラバスの作成を依頼し、webにて4月から閲覧可としている。シラバスには以下の内容を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義名 ・科目群 ・科目区分等(当該科目の教育課程内の位置づけ) ・対象学年次 ・ナンバリング ・担当教員名 ・授業のキーワード ・授業の概要 ・期待される学習成果(目標) ・授業展開(テーマと内容)×15回分 ・定期試験 ・評価方法 ・使用する教科書 ・参考文献 ・授業時間外学習 	
授業計画書の公表方法	https://www.nitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-2

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位認定（成績評価）は、指定校編入学学内選考資料、奨学金受給要件などにも利用している。日々の授業における説明と整合性のある評価基準により、担当教員の責任で慎重に評価している。なお、成績評価は本学の教育水準を外部に公表するものであり、高等教育機関として最低水準のレベルに達していないと判断される場合は、「不合格」としている。

●成績評価の基本方針

成績の評価方法は絶対評価であり、教員の裁量に委ねられているものであるが、履修学生が少ない科目や演習科目などの場合を除き、成績評価の結果が極端に偏ることのないような評価を原則とする。

●成績評価の要素

成績の評価は、定期試験の結果だけでなく、授業でのミニテスト等の結果、授業への参加態度、発言内容など、多様な要素を考慮して行う。

●厳格公平な評価

安易な S・A 評価の乱発を避け、厳格公平な評価を行う。授業出席回数が 3 分の 2 に満たない場合は、定期試験を受験させない。

●GPA 分布表

毎学期末、学務課が作成した GPA 分布表を学生に公表する。

●成績問い合わせ

各学期成績発表後 1 週間以内に、学生から「成績問い合わせ申請書」が提出された場合、各教員は回答しなければならない。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

[区分]：合格

評価	評点	GP	GP 対象	評価内容
S	80～100 点	4	○	特に優れた成績 履修者の 10%を目安とする
A		3	○	優れた成績
B	70～79 点	2	○	妥当と認められる成績
C	60～69 点	1	○	合格と認められる最低限の成績

[区分]：不合格

評価	評点	GP	GP 対象	評価内容
E	40～59 点	0	○	合格と認められる最低限の成績に達していない成績「再試験資格有」
F	0～39 点	0	○	合格と認められる最低限の成績にはるかに達していない成績(出席回数が 2/3 未満、定期試験を未許可で欠席含む)「再試験資格無」

[区分]：保留

評価	評点	GP	GP 対象	評価内容
R	一時表記	-	×	正当な理由で定期試験未受験で、追試験の許可を得た科目「追試験資格有」

[区分]：放棄

評価	評点	GP	GP 対象	評価内容
W	履修放棄	-	×	休学のため当該学期に履修できない科目

[区分]：認定

評価	評点	GP	GP 対象	評価内容
P	単位認定科目	-	×	他大学等で履修した科目の単位を本学の単位として認定した科目

GPA 算出方法 = $\frac{4 \times S \text{ の単位数} + 3 \times A \text{ の単位数} + 2 \times B \text{ の単位数} + 1 \times C \text{ の単位数}}{\text{総履修単位数 (R・W・P を含まない)}}$

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-4>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学に2年以上在籍して、所定の科目を履修し、キャリアデザイン学科は68単位以上、コミュニティ子ども学科は65単位以上を修得した者について、教授会の意見を参考にして、学長が卒業を認定する。</p> <p>ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)</p> <p>キャリアデザイン学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教について理解し、他者のことを配慮しつつ社会生活を送ることのできる共生の精神を身につけていること。 ・卒業後の進路で必要な基礎学力を修得していること。 ・卒業後の進路で必要な資格を取得していること。 ・[就職希望者の場合]仕事に必要な一般的知識やスキルを修得していること。 ・[四年制大学進学希望者の場合]四年制大学で学ぶのに必要な専門的知識を修得していること。 <p>コミュニティ子ども学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者として必要とされる知識やスキルを身に付けていること ・保育者として、子どもの心身の健やかな成長を支えることに対して、責任感と使命感を持っていること ・キリスト教について理解し、その精神を保育者として実践していこうという意欲があること <p>卒業の要件</p> <p>キャリアデザイン学科</p> <p>本学に2年以上在学し、所定の科目を履修し、卒業に必要な履修単位(68単位以上)を修得することが必要となる。また、卒業のためには在学期間におけるGPAが1.50以上なければならない。</p> <p>コミュニティ子ども学科</p> <p>本学に2年以上在学し、所定の科目を履修し、卒業に必要な履修単位(65単位以上)を修得することが必要となる。また、卒業のためには在学期間におけるGPAが1.50以上なければならない。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-5</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新島学園短期大学
設置者名	学校法人 新島学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://houjin.niijima-gakuen.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://houjin.niijima-gakuen.jp/disclosure/
財産目録	https://houjin.niijima-gakuen.jp/disclosure/
事業報告書	https://houjin.niijima-gakuen.jp/disclosure/
監事による監査報告(書)	https://houjin.niijima-gakuen.jp/disclosure/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-7#jikotenken

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 キャリアデザイン学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法:https://www.niitan.jp/about/disclosure#disclosure-3)</p> <p>(概要) キャリアデザイン学科は、建学の精神に基づき、みずからの使命を真摯に探求し、信念に基づく行動を行い、他者の思想や価値観を尊重する社会に有意な人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法:https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-5)</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キリスト教について理解し、他者のことを配慮しつつ社会生活を送ることのできる共生の精神を身につけていること。 ●卒業後の進路で必要な基礎学力を修得していること。 ●卒業後の進路で必要な資格を取得していること。 ●[就職希望者の場合] 仕事に必要な一般的知識やスキルを修得していること。 ●[四年制大学進学希望者の場合] 四年制大学で学ぶのに必要な専門的知識を修得していること。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法:https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-1)</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コース制を採用し、自己のキャリアデザインに合った学びを体系的にできるよう配慮している。 ●各分野の学びが段階的にできるように、各授業科目にナンバリングを施している。 ●本学の教育の根幹であるキリスト教についての基本的な理解が得られるための授業科目を用意している。 ●学生が短期大学で学ぶのに必要とされる基礎学力が得られるための授業科目を用意している。 ●学生が将来の進路に必要とされる資格関連の授業科目を用意している。 ●就職を希望する学生が仕事で必要とされる一般知識やスキルが得られるための授業科目を用意している。 ●四年制大学への進学を希望する学生が四年制大学で学ぶのに必要とされる専門的知識が得られる授業科目を用意している。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法:https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-4#disclosure-1-1)</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高等学校での基礎的な学びを習得している人 ●学生生活において、自己の成長を図るために意欲的に学習活動等に取り組みたいと考えている人 ●幅広い学びを通じて、自己の適性を発見していきたいと考えている人 ●学生生活の中で、自分の将来に必要とされる知識やスキルを身につけ、卒業後の進路を確かなものにしたいたいと考えている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: https://www.niitan.jp/about/disclosure#disclosure-4

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 コミュニティ子ども学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.niitan.jp/about/disclosure#disclosure-3 ）
<p>（概要）</p> <p>コミュニティ子ども学科は、建学の精神に基づき、地域社会に貢献しうる保育士と幼稚園教諭を養成する。</p>
卒業の認定に関する方針
<p>（公表方法：https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-5）</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保育者として必要とされる知識やスキルを身に付けていること ● 保育者として、子どもの心身の健やかな成長を支えることに対して、責任感と使命感を持っていること ● キリスト教について理解し、その精神を保育者として実践していこうという意欲があること
教育課程の編成及び実施に関する方針
<p>（公表方法：https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-2#disclosure-1）</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保育者として必要とされる知識やスキルを、体系的に身に付けられるように配慮している ● コース制を採用し、保育者としての基本的知識を身に付けるとともに、各自の興味・関心に応じた選択的な学び(福祉・心理、音楽)を用意している ● キリスト教についての基本的な理解が得られるための授業科目や活動を用意している ● キリスト教主義保育の特色と有用性が理解できるための授業科目や活動を用意している
入学者の受入れに関する方針
<p>（公表方法：https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-4#disclosure-1-1）</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校での基礎的な学びを習得している人 ● 学生生活において、自己の成長を図るために意欲的に学習活動等に取り組みたいと考えている人 ● 学生生活の中で、保育者として必要とされる知識やスキルを、主体的に身につけたいと考えている人 ● 保育者として子どもと関わることに対して、強い興味と意義を感じている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.niitan.jp/about/disclosure#disclosure-4

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
キャリアデザイン学科	—	2人	4人	2人	0人	0人	8人
コミュニティ子ども学科	—	5人	2人	0人	0人	0人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		48人					48人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.niitan.jp/department/career-design/teacher https://www.niitan.jp/department/community-children/teacher					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
キャリアデザイン学科	130人	97人	74.6%	260人	195人	75.0%	0人	0人
コミュニティ子ども学科	50人	49人	98.0%	100人	84人	84.0%	0人	0人
合計	180人	人	%	360人	279人	77.5%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
キャリアデザイン学科	96人 (100%)	31人 (32.3%)	54人 (56.3%)	11人 (11.5%)
コミュニティ子ども学科	35人 (100%)	0人 (0%)	35人 (100%)	0人 (0%)
合計	131人 (100%)	31人 (23.7%)	89人 (67.9%)	11人 (8.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業期間は春学期と秋学期の2学期に分かれ、それぞれ15週実施。 教育上必要な授業科目（必修科目、選択必修科目、選択科目、幼免必修科目及び留学生限定科目）が2年間の完結教育として位置づけられ、体系的に編成されている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 卒業のためには、本学に2年以上在学し、所定科目を履修し、卒業に必要な履修単位（キャリアデザイン学科：68単位、コミュニティ子ども学科：65単位）を修得することが必要である。 また、在学期間におけるGPAは1.50以上が必要となる。				
学部名	学科名	卒業に必要なとなる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	キャリアデザイン学科	68単位	有・無	単位
	コミュニティ子ども学科	65単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.niitan.jp/life/campusmap>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	キャリアデザイン学科	620,000 円	250,000 円	380,000 円	
	コミュニティ子ども学科	650,000 円	250,000 円	380,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>1年生ゼミ (Fゼミ)、2年生ゼミ (Aゼミ) の担当教員が相談に応じている。専任教員はオフィスアワーの時間帯も設けている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>ゼミ担当教員、キャリアセンターが中心となり、進路全般にわたる相談を受け付け、就職、進学に関する支援を行っている。</p> <p>就職支援</p> <p>進路ガイダンスを1年次秋学期から2年次春学期にわたり実施し、VPI 職業興味検査、就職総合テスト、就職情報サイトへの登録、企業研究、話し方講座、メイクアップ講座等を行っている。また、キャリアセンターでは、エントリーシート・履歴書の添削、面接練習を行っている。</p> <p>進学支援</p> <p>四年制大学編入希望者には補習、面接練習を行っている。また、キャリアセンターでは、編入学試験の過去問題や受験報告書を閲覧することができる。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生のような悩みの相談を受けるために学生相談室を開設している。臨床心理士 (カウンセラー) が秘密厳守で相談に対応している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.niitan.jp/about/disclosure/page-7
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F210310101889
学校名	新島学園短期大学
設置者名	学校法人 新島学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		34人	35人	38人
内 訳	第Ⅰ区分	21人	25人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				38人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		0人	
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期 0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。